

今月の目標

生活指導：寒さに負けず元気にすごしましょう。

給食指導：寒さに負けない食事をしましょう。

保健指導：楽しい学校生活を送ろう。



◆全校遠足を終えて◆

特活部 齋藤 直子 嶋田 彩

昨年12月22日(水)天候にも恵まれ、全校で赤羽自然観察公園へ行ることができました。

朝から、わくわくしている児童の様子が見受けられ、この日を楽しみにしていたんだと感じました。

たてわり班遊びは、広場で行いました。たてわり班会議で決めた遊びを、思い思いに楽しんでいました。上の学年の児童が下の学年の児童に対して優しく声を掛けたりする姿、6年生がリーダーとして班のみんなに指示を出したり声を掛けたりする姿がとても頼もしかったです。またウォークラリーでは、各ポイントにいる先生のクイズやゲームを班で協力しながら楽しく活動をしていました。時には悪戦苦闘をしながら取り組み、笑顔があふれる場面が所々見られました。6年生を中心に地図を見ながら、次はどこに行くか、ここから近いポイントはどこかを班で話しながら進めていました。

赤羽自然観察公園と学校の往復でも、上の学年の児童が車道側にさっと動いて安全を確保する行動も見られ、思いやりの気持ちが行動に表れていてうれしく思いました。半日と短い時間でしたが、たてわり班で過ごした時間は児童にとっては有意義なものになったと思います。

今回のウォークラリーの結果です。
どの班もとてもがんばりました。

1位 19班 929P

2位 8班 857P

3位 22班 814P



たてわり班ごとに学校を出発！上級生が下級生とペアを組むよう、並び方もたてわり班会議で決めました。

◆コロナ禍でも食の楽しみを◆

栄養士 片山 静香

「給食中は前を向き、話をせず静かに食べましょう。」

コロナ禍になり約2年が経ちますが、そのきまりが無くなることは、残念ながらもまだありません。

友達とおしゃべりしながら楽しく食べることはできませんが、その分食事と向き合い、集中して味わう良い機会だと考えています。毎日の給食放送や各クラスに配布するお便りでは、料理の紹介の他、その日の給食に使われている食材や調味料を当てるクイズも交えながら伝えています。

給食は「生きた教材」です。食べる量の目安を把握する、食文化を学ぶなど、給食の時間が食を学ぶ時間になるように取り組んでいます。今年度はさらに、子供たちに給食が楽しみだと思ってもらえるような工夫もしています。例年よりもセレクトメニューやリクエストメニューを多く取り入れ、9月はオリパラ給食(近年の夏季オリンピック開催国の料理)、12月は学芸会の各学年の演目にちなんだ創作メニューが、日替わりで登場しました。1月は新年のお楽しみとして、竹輪の穴に3種類の野菜のうちどれか1つが入った「おみくじ天ぷら」を提供し、給食終了後に「ごぼうが入ってた!」「僕は3種類そろった大吉だったよ!」と喜んでいる子供たちの姿が見られました。1月24日からの学校給食週間では、昔の給食や、ALTの先生の出身国の料理、「日本全国味巡り」と題して毎月取り入れている郷土料理(今回は関東地方の料理)を提供し、給食について改めて考える良い機会となりました。最近では、給食のレシピを教えて欲しいと来てくれる子が増え、うれしく思っています。

これからも感染防止対策を講じながら、食への興味や好奇心がわくような給食を心掛けていきます。